

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間（2014年3月19日～2019年3月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）
マザーファンドの運用方法	①主として、米国企業の株式等（※）の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり利益の獲得による信託財産の成長をめざします。 ※不動産投資信託証券を含みます。	
	②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ. 自社株買いを実施または発表している米国企業の株式等の中から、時価総額、流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄に対し、次の観点で検証・分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。 i. 自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等による資本配分戦略 ii. 業績動向、経営方針および株価バリュエーション等 ハ. 組入候補銘柄から、業種や銘柄の分散等を考慮してポートフォリオを構築します。 ③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。  ※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ米国 バイバック・ファンド （為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

## 運用報告書（全体版） 第8期

（決算日 2018年3月19日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第8期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5624>

<5625>

為替ヘッジあり

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2016年3月18日)	9,283	0	△ 2.8	10,899	2.5	93.7	0.9	2,411
5期末(2016年9月20日)	9,368	0	0.9	11,425	4.8	97.1	0.8	1,995
6期末(2017年3月21日)	10,135	130	9.6	12,677	11.0	96.7	—	1,949
7期末(2017年9月19日)	10,529	50	4.4	13,374	5.5	99.1	0.4	1,619
8期末(2018年3月19日)	11,191	200	8.2	14,699	9.9	94.8	1.1	1,129

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

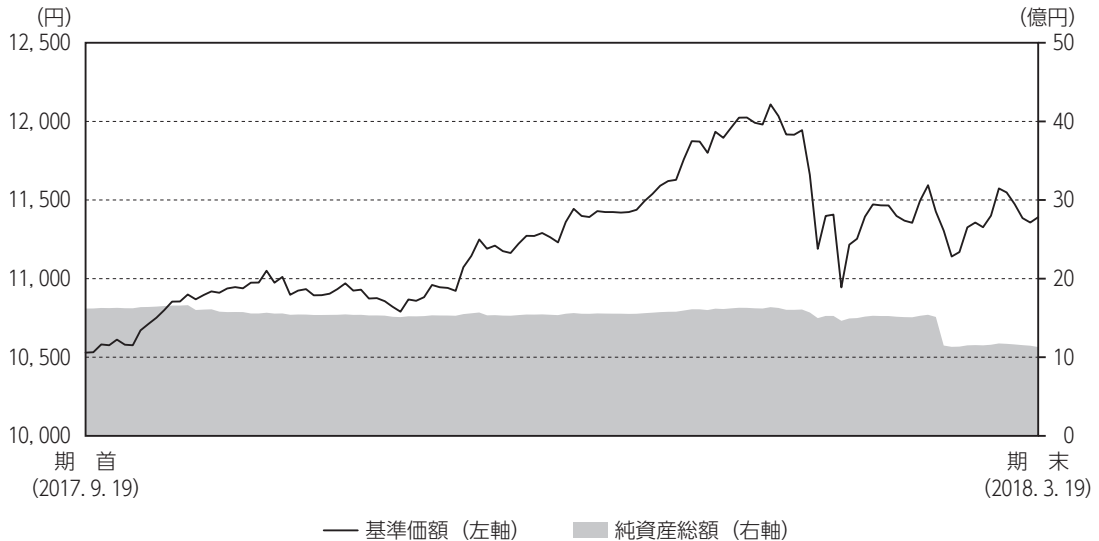
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,529円

期末：11,191円 (分配金200円)

騰落率：8.2% (分配金込み)

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、トランプ政権による政策への期待や良好な景気見通し、好調な企業業績を背景に米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、為替ヘッジを行なった結果、為替変動による基準価額への影響は限定的でした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2017年 9月19日	10,529	—	13,374	—	99.1	0.4
9月末	10,712	1.7	13,407	0.2	99.2	0.4
10月末	10,894	3.5	13,742	2.8	98.4	0.5
11月末	11,144	5.8	14,026	4.9	97.3	0.6
12月末	11,438	8.6	14,355	7.3	98.6	0.6
2018年 1月末	11,917	13.2	15,075	12.7	97.8	—
2月末	11,427	8.5	14,658	9.6	92.5	1.0
(期末)2018年 3月19日	11,391	8.2	14,699	9.9	94.8	1.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

（2017. 9. 20 ~ 2018. 3. 19）

**米国株式市況**

米国株式市況は、期首から、2018会計年度の予算審議が進展したことで、税制改革などトランプ政権による政策への期待が高まり、上昇しました。加えて、良好な米国景気や好調な2017年7 - 9月業績などを背景に、株式市況は堅調な推移となりました。12月には、議会において暫定予算が可決されたことで税制改革法成立への期待が急速に高まり、上昇する展開となりました。2018年に入ると、税制改革による減税効果を反映して2018年の利益予想が上方修正されたことや、米国および中国の良好な経済指標を受けて騰勢を強めました。2月以降は、長期金利の上昇や金融政策の不透明感に対する警戒感、米国の輸入制限など保護主義政策への懸念を背景に、市場の変動性が高まる展開となったことから、株式市況はこれまで上昇してきた銘柄を中心に下落し、期末を迎えました。

**前期における「今後の運用方針」****当ファンド**

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

**ダイワ米国バイバック・マザーファンド**

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、トランプ政権の政策実行能力に注目が集まる展開が予想され、高値警戒感やバリュエーションでの割高感も意識されやすい水準のため、上昇一服となる局面が訪れる可能性があります。しかし、米国経済や企業業績の見通しは総じて良好であることから、中長期的には米国株式市場は堅調に推移すると考えます。

## ポートフォリオについて

（2017. 9. 20 ～ 2018. 3. 19）

### 当ファンド

主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

### ダイワ米国バイバック・マザーファンド

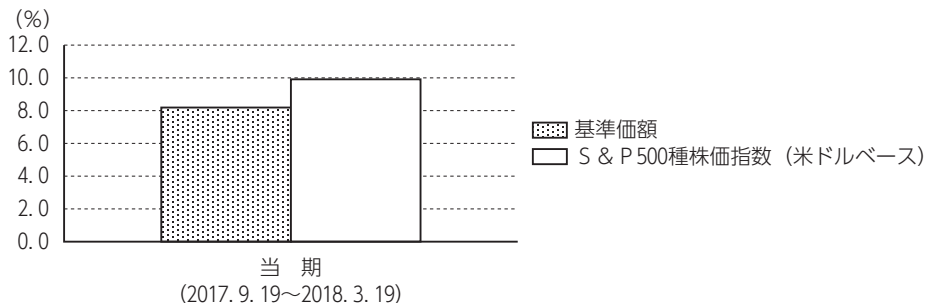
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、堅調な企業業績が見込まれた一般消費財・サービスセクターや金融セクターのウエートを高位としました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーションなどを総合的に勘案して、AMERICAN EXPRESS CO（金融）、WALT DISNEY CO/THE（一般消費財・サービス）、MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A（一般消費財・サービス）などを上位組み入れとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月20日 ～2018年3月19日	
当期分配金（税込み）（円）		200
対基準価額比率（％）		1.76
当期の収益（円）		200
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		1,234

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	58.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	802.21
(c) 収益調整金	37.19
(d) 分配準備積立金	536.85
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,434.38
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,234.38

- （注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ■ ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買の実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、法人減税の実施や好調な景気を背景とした企業業績の拡大を背景に堅調な推移が想定されます。業績拡大に合わせ株主還元策に対する株式市場の期待感も高まってくると見込まれます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 20～2018. 3. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	99円	0. 883%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 240円です。
(投 信 会 社)	(48)	(0. 428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0. 114	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(13)	(0. 113)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0. 001)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 002)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	1	0. 012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	114	1. 011	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	51,131	71,000	512,980	697,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12,806,618千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,984,399千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.83

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	1,275,462	813,613	1,093,333

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	1,093,333	93.6
コール・ローン等、その他	74,461	6.4
投資信託財産総額	1,167,795	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝105.93円です。

(注3) ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（6,020,450千円）の投資信託財産総額（6,192,859千円）に対する比率は、97.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,265,601,042円
コール・ローン等	28,264,395
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	1,093,333,770
未収入金	1,144,002,877
(B) 負債	1,135,934,905
未払金	1,097,805,630
未払収益分配金	20,188,822
未払解約金	4,440,414
未払信託報酬	13,459,331
その他未払費用	40,708
(C) 純資産総額（A－B）	1,129,666,137
元本	1,009,441,117
次期繰越損益金	120,225,020
(D) 受益権総口数	1,009,441,117口
1万口当り基準価額（C/D）	11,191円

\* 期首における元本額は1,537,731,332円、当期中における追加設定元本額は5,488,234円、同解約元本額は533,778,449円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,191円です。

## ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

### ■損益の状況

当期 自 2017年9月20日 至 2018年3月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,880円
受取利息	550
支払利息	△ 2,430
(B) 有価証券売買損益	100,347,248
売買益	165,213,405
売買損	△ 64,866,157
(C) 信託報酬等	△ 13,500,039
(D) 当期損益金 (A + B + C)	86,845,329
(E) 前期繰越損益金	54,192,810
(F) 追加信託差損益金	△ 624,297
(配当等相当額)	( 3,754,916)
(売買損益相当額)	(△ 4,379,213)
(G) 合計 (D + E + F)	140,413,842
(H) 収益分配金	△ 20,188,822
次期繰越損益金 (G + H)	120,225,020
追加信託差損益金	△ 624,297
(配当等相当額)	( 3,754,916)
(売買損益相当額)	(△ 4,379,213)
分配準備積立金	120,849,317

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,866,270円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	80,979,059
(c) 収益調整金	3,754,916
(d) 分配準備積立金	54,192,810
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	144,793,055
(f) 分配金	20,188,822
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	124,604,233
(h) 受益権総口数	1,009,441,117口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金</b>	<b>200円</b>

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、3月19日現在の基準価額（1万口当り11,191円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4 期末 (2016年 3月18日)	9,429	0	△ 9.9	11,946	△ 4.9	96.4	0.9	10,555
5 期末 (2016年 9月20日)	8,745	0	△ 7.3	11,484	△ 3.9	97.3	0.8	8,339
6 期末 (2017年 3月21日)	10,342	300	21.7	14,048	22.3	97.5	—	7,115
7 期末 (2017年 9月19日)	10,773	0	4.2	14,696	4.6	98.2	0.4	5,830
8 期末 (2018年 3月19日)	11,094	100	3.9	15,351	4.5	97.1	1.1	4,991

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数（円換算）は、S & P 500種株価指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

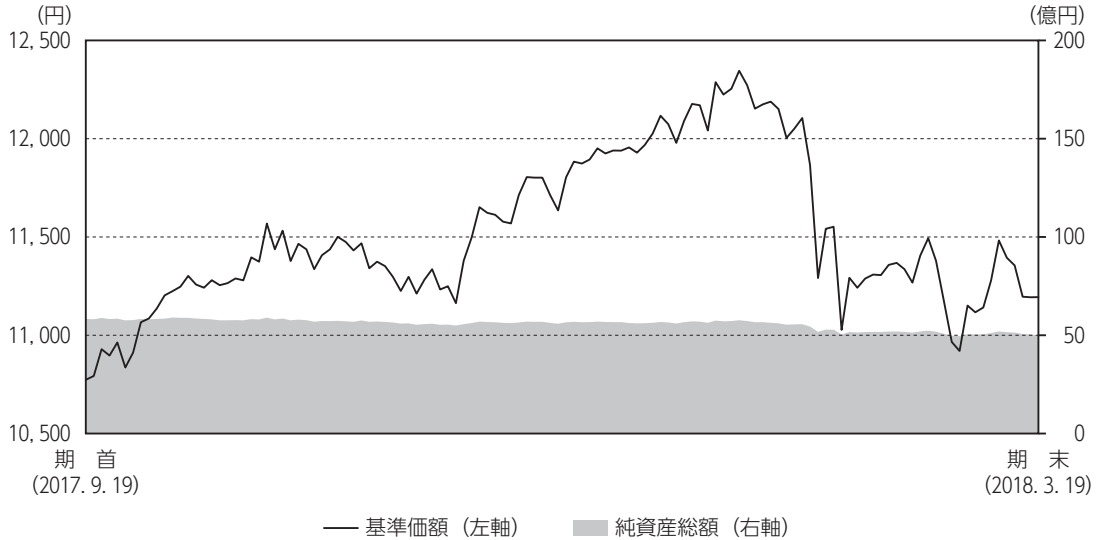
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,773円

期末：11,094円（分配金100円）

騰落率：3.9%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、トランプ政権による政策への期待や良好な景気見通し、好調な企業業績を背景に米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、米ドル円為替相場下落がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2017年 9月19日	10,773	—	14,696	—	98.2	0.4
9月末	11,085	2.9	14,900	1.4	98.8	0.4
10月末	11,336	5.2	15,331	4.3	99.0	0.5
11月末	11,498	6.7	15,495	5.4	98.4	0.6
12月末	11,929	10.7	15,992	8.8	98.6	0.6
2018年 1月末	12,004	11.4	16,169	10.0	99.3	—
2月末	11,379	5.6	15,516	5.6	93.2	1.0
(期末)2018年 3月19日	11,194	3.9	15,351	4.5	97.1	1.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2017. 9. 20 ~ 2018. 3. 19）

## ■米国株式市況

米国株式市況は、期首から、2018会計年度の予算審議が進展したことで、税制改革などトランプ政権による政策への期待が高まり、上昇しました。加えて、良好な米国景気や好調な2017年7 - 9月業績などを背景に、株式市況は堅調な推移となりました。12月には、議会において暫定予算が可決されたことで税制改革法成立への期待が急速に高まり、上昇する展開となりました。2018年に入ると、税制改革による減税効果を反映して2018年の利益予想が上方修正されたことや、米国および中国の良好な経済指標を受けて騰勢を強めました。2月以降は、長期金利の上昇や金融政策の不透明感に対する警戒感、米国の輸入制限など保護主義政策への懸念を背景に市場の変動性が高まる展開となったことから、株式市況はこれまで上昇してきた銘柄を中心に下落し、期末を迎えました。

## ■為替相場

為替相場は、米ドルが対円で下落しました。当期の序盤は、良好な米国景気や米国の利上げ観測の高まりなどから円安傾向となりましたが、その後は、2017年末にかけておおむね横ばいでの推移となりました。2018年に入ると、米国財務長官による米ドル安容認発言をきっかけに米ドル安が進行する展開となりました。2月以降は、株価の急落や米国の保護主義政策に対する懸念が広がる中で投資家のリスク回避的な姿勢が強まり、円高基調となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

## ■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、トランプ政権の政策実行能力に注目が集まる展開が予想され、高値警戒感やバリュエーションでの割高感も意識されやすい水準のため、上昇一服となる局面が訪れる可能性があります。しかし、米国経済や企業業績の見通しは総じて良好であることから、中長期的には米国株式市場は堅調に推移すると考えます。

## ポートフォリオについて

（2017. 9. 20 ~ 2018. 3. 19）

### 当ファンド

主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

### ダイワ米国バイバック・マザーファンド

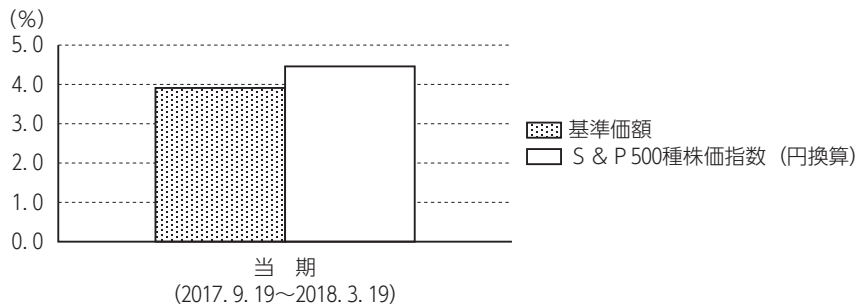
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、堅調な企業業績が見込まれた一般消費財・サービスセクターや金融セクターのウエートを高位としました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーションなどを総合的に勘案して、AMERICAN EXPRESS CO（金融）、WALT DISNEY CO/THE（一般消費財・サービス）、MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A（一般消費財・サービス）などを上位組み入れとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。





## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月20日 ～2018年3月19日	
当期分配金（税込み）（円）		100
対基準価額比率（％）		0.89
当期の収益（円）		55
当期の収益以外（円）		44
翌期繰越分配対象額（円）		1,369

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	55.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	261.05
(d) 分配準備積立金	1,152.56
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,469.36
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,369.36

- （注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

### ■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、法人減税の実施や好調な景気を背景とした企業業績の拡大を背景に堅調な推移が想定されます。業績拡大に合わせ株主還元策に対する株式市場の期待感も高まってくると見込まれます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 20～2018. 3. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	102円	0.884%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,517円です。
(投 信 会 社)	(49)	(0.428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0.114	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(13)	(0.113)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	117	1.012	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	73,175	100,000	937,973	1,279,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

項目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12,806,618千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,984,399千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.83

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	4,548,179	3,683,381	4,949,727			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	4,949,727	96.9
コール・ローン等、その他	160,881	3.1
投資信託財産総額	5,110,609	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝105.93円です。

(注3) ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（6,020,450千円）の投資信託財産総額（6,192,859千円）に対する比率は、97.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,110,609,727円
コール・ローン等	50,881,844
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	4,949,727,883
未収入金	110,000,000
(B) 負債	119,396,697
未払収益分配金	44,989,560
未払解約金	25,087,700
未払信託報酬	49,170,483
その他未払費用	148,954
(C) 純資産総額 (A - B)	4,991,213,030
元本	4,498,956,059
次期繰越損益金	492,256,971
(D) 受益権総口数	4,498,956,059口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,094円

\* 期首における元本額は5,411,912,783円、当期中における追加設定元本額は114,491,728円、同解約元本額は1,027,448,452円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,094円です。

## ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

### ■損益の状況

当期 自 2017年9月20日 至 2018年3月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,496円
受取利息	265
支払利息	△ 6,761
(B) 有価証券売買損益	232,183,163
売買益	297,630,682
売買損	△ 65,447,519
(C) 信託報酬等	△ 49,319,437
(D) 当期損益金 (A + B + C)	182,857,230
(E) 前期繰越損益金	284,688,055
(F) 追加信託差損益金	69,701,246
(配当等相当額)	( 117,447,057)
(売買損益相当額)	(△ 47,745,811)
(G) 合計 (D + E + F)	537,246,531
(H) 収益分配金	△ 44,989,560
次期繰越損益金 (G + H)	492,256,971
追加信託差損益金	69,701,246
(配当等相当額)	( 117,447,057)
(売買損益相当額)	(△ 47,745,811)
分配準備積立金	498,625,387
繰越損益金	△ 76,069,662

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	25,082,061円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	117,447,057
(d) 分配準備積立金	518,532,886
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	661,062,004
(f) 分配金	44,989,560
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	616,072,444
(h) 受益権総口数	4,498,956,059口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、3月19日現在の基準価額（1万口当り11,094円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ米国バイバック・マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2018年3月19日)

(計算期間 2017年9月20日～2018年3月19日)

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）
運用方法	<p>①主として、米国企業の株式等（※）の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。 ※不動産投資信託証券を含みます。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 自社株買いを実施または発表している米国企業の株式等の中から、時価総額、流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄に対し、次の観点で検証・分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>    i. 自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等による資本配分戦略</p> <p>    ii. 業績動向、経営方針および株価バリュエーション等</p> <p>ハ. 組入候補銘柄から、業種や銘柄の分散等を考慮してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

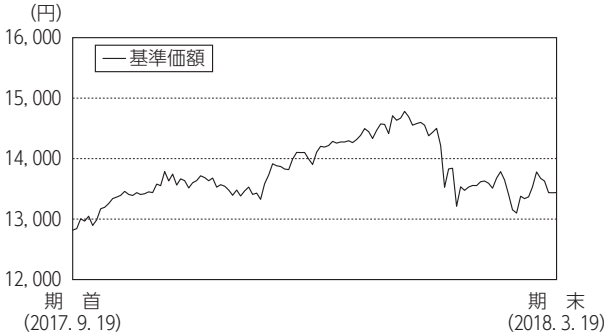
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株式組入比率	投資信託証券組入比率
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年9月19日	12,817	—	14,696	—	98.2	0.4
9月末	13,195	2.9	14,900	1.4	98.7	0.4
10月末	13,515	5.4	15,331	4.3	99.0	0.5
11月末	13,729	7.1	15,495	5.4	98.4	0.6
12月末	14,264	11.3	15,992	8.8	98.6	0.6
2018年1月末	14,377	12.2	16,169	10.0	99.3	—
2月末	13,647	6.5	15,516	5.6	93.2	1.0
(期末) 2018年3月19日	13,438	4.8	15,351	4.5	97.9	1.1

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に關し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,817円 期末：13,438円 騰落率：4.8%

【基準価額の主な変動要因】

主に米国の株式に投資した結果、トランプ政権による政策への期待や良好な景気見通し、好調な企業業績を背景に米国株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。一方、米ドル円為替相場の下落がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、期首から、2018会計年度の予算審議が進展したことで、税制改革などトランプ政権による政策への期待が高まり、上昇しました。加えて、良好な米国景気や好調な2017年7～9月業績などを背景に、株式市況は堅調な推移となりました。12月には、議会において暫定予算が可決されたことで税制改革法成立への期待が急速に高まり、上昇する展開となりました。2018年に入ると、税制改革による減税効果を反映して2018年の利益予想が上方修正されたことや、米国および中国の良好な経済指標を受けて騰勢を強めました。2月以降は、長期金利の上昇や金融政策の不透明感に対する警戒感、米国の輸入制限など保護主義政策への懸念を背景に市場の変動性が高まる展開となったことから、株式市況はこれまで上昇してきた銘柄を中心に下落し、期末を迎えました。

○為替相場

為替相場は、米ドルが対円で下落しました。当期の序盤は、良好な米国景気や米国の利上げ観測の高まりなどから円安傾向となりましたが、その後は、2017年末にかけておおむね横ばいでの推移となりました。2018年に入ると、米国財務長官による米ドル安容認発言をきっかけに米ドル安が進行する展開となりました。2月以降は、株価の急落や米国の保護主義政策に対する懸念が広がる中で投資家のリスク回避的な姿勢が強まり、円高基調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、トランプ政権の政策実行能力に注目が集まる展開が予想され、高値警戒感やバリュエーションでの割高感も意識されやすい水準のため、上昇一服となる局面が訪れる可能性があります。しかし、米国経済や企業業績の見通しは総じて良好であることから、中長期的には米国株式市場は堅調に推移すると考えます。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、堅調な企業業績が見込まれた一般消費財・サービスセクターや金融セクターのウエートを高位としました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーションなどを総合的に勘案して、AMERICAN EXPRESS CO (金融)、WALT DISNEY CO/THE (一般消費財・サービス)、MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A (一般消費財・サービス) などを上位組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行なうことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、法人減税の実施や好調な景気を背景に企業業績は拡大することが予想されます。業績拡大に合わせて株主還元策に対する株式市場の期待感も高まってくると見込まれます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	16円 ( 16) ( 0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 ( 0) ( 0)
その他費用 (保管費用)	1 ( 1)
合 計	17

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2017年 9月20日から2018年 3月19日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	百株		千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
	アメリカ	6,633 ( 0.88)	50,756 ( —)	10,489.08	66,590

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年 9月20日から2018年 3月19日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外 国	千□		千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
	アメリカ	7.2 ( —)	682 ( —)	5.3 ( —)	382 ( —)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2017年 9月20日から2018年 3月19日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 間		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
BOEING CO/THE (アメリカ)	9.8	337,638	34,452	BOEING CO/THE (アメリカ)	22.13	733,928	33,164
HEXCEL CORP (アメリカ)	44	315,297	7,165	MCDONALD'S CORP (アメリカ)	26.2	472,637	18,039
UNITED TECHNOLOGIES CORP (アメリカ)	20.6	300,408	14,582	UNITED RENTALS INC (アメリカ)	21.8	366,531	16,813
GENERAL MOTORS CO (アメリカ)	56.9	261,626	4,598	HEXCEL CORP (アメリカ)	44	302,675	6,878
CVS HEALTH CORP (アメリカ)	32.4	260,507	8,040	UNITED TECHNOLOGIES CORP (アメリカ)	20.6	292,467	14,197
WALT DISNEY CO/THE (アメリカ)	22.8	259,419	11,378	GILEAD SCIENCES INC (アメリカ)	29.1	254,901	8,759
CITIGROUP INC (アメリカ)	30.6	244,481	7,989	PGT INNOVATIONS INC (アメリカ)	130	209,577	1,612
GENERAL ELECTRIC CO (アメリカ)	80	204,823	2,560	HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC (アメリカ)	14.5	186,820	12,884
MARRIOTT INTERNATIONAL-CL A (アメリカ)	12.9	194,701	15,093	OWENS CORNING (アメリカ)	20.2	184,310	9,124
UNITED RENTALS INC (アメリカ)	9.9	186,312	18,819	DELTA AIR LINES INC (アメリカ)	29.99	175,578	5,854

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。



(2) 投資信託証券

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SBA COMMUNICATIONS CORP (アメリカ)	3.7	66,307	17,920	SBA COMMUNICATIONS CORP (アメリカ)	1.8	33,521	18,622
HOST HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)	3.5	7,327	2,093	HOST HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)	3.5	8,049	2,299

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	期 首		当 期		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
<b>(アメリカ)</b>							
SYNCHRONY FINANCIAL	—	267	939	99,557	金融		
RED ROBIN GOURMET BURGERS	22	—	—	—	一般消費財・サービス		
ADOBE SYSTEMS INC	16	16	360	38,228	情報技術		
CELANESE CORP-SERIES A	—	86	917	97,230	素材		
DR HORTON INC	21	21	91	9,734	一般消費財・サービス		
CITIGROUP INC	—	257	1,888	200,014	金融		
DOMINO'S PIZZA INC	15	15	344	36,512	一般消費財・サービス		
DAVITA INC	—	41	280	29,763	ヘルスケア		
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	40	40	298	31,579	金融		
APPLE INC	72	27	480	50,915	情報技術		
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	186.1	182.1	1,393	147,644	金融		
BOEING CO/THE	123.3	—	—	—	資本財・サービス		
BECTON DICKINSON AND CO	22	22	491	52,032	ヘルスケア		
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	235	112	616	65,252	金融		
JPMORGAN CHASE & CO	104	101	1,165	123,508	金融		
AMERIPRISE FINANCIAL INC	55	41	644	68,230	金融		
DOLLAR GENERAL CORP	29	29	276	29,315	一般消費財・サービス		
DELTA AIR LINES INC	299.9	—	—	—	資本財・サービス		
CORNING INC	275	—	—	—	情報技術		
CISCO SYSTEMS INC	—	93	418	44,341	情報技術		
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	8	—	—	—	一般消費財・サービス		
CITIZENS FINANCIAL GROUP	116	—	—	—	金融		
MONSTER BEVERAGE CORP	80	80	469	49,693	生活必需品		
QUANTA SERVICES INC	150	—	—	—	資本財・サービス		
POOL CORP	16	—	—	—	一般消費財・サービス		
TIME WARNER INC	21	21	202	21,417	一般消費財・サービス		
BURLINGTON STORES INC	15	15	190	20,178	一般消費財・サービス		
WYNDHAM WORLDWIDE CORP	32	32	372	39,409	一般消費財・サービス		
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	122	—	—	—	資本財・サービス		
COLGATE-PALMOLIVE CO	39	39	271	28,761	生活必需品		
AMETEK INC	—	83	653	69,176	資本財・サービス		

## ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	百株 3	百株 —	千アメリカ・ドル —	千円 —	一般消費財・サービス
SIX FLAGS ENTERTAINMENT CORP	41	41	255	27,014	一般消費財・サービス
PGT INNOVATIONS INC	1,300	—	—	—	資本財・サービス
ACTIVISION BLIZZARD INC	—	61	437	46,317	情報技術
ASPEN TECHNOLOGY INC	—	33	266	28,266	情報技術
HCA HEALTHCARE INC	120.9	101.9	1,047	110,932	ヘルスケア
T-MOBILE US INC	—	50	323	34,300	電気通信サービス
UNIVERSAL DISPLAY CORP	—	8	99	10,508	情報技術
SOTHEBY'S	32	—	—	—	一般消費財・サービス
AMAZON.COM INC	4	4	628	66,595	一般消費財・サービス
UNITED RENTALS INC	157	38	707	74,988	資本財・サービス
FISERV INC	68	—	—	—	情報技術
GENERAL MOTORS CO	—	490	1,859	196,930	一般消費財・サービス
PROTO LABS INC	137	—	—	—	資本財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	60	73	1,953	206,932	金融
ALPHABET INC-CL C	3	4	454	48,123	情報技術
OWENS CORNING	202	—	—	—	資本財・サービス
AMERICAN AIRLINES GROUP INC	213	151	836	88,614	資本財・サービス
HOME DEPOT INC	42	42	751	79,620	一般消費財・サービス
HUMANA INC	—	14	381	40,446	ヘルスケア
FORTUNE BRANDS HOME & SECURI	111	—	—	—	資本財・サービス
MARRIOTT VACATIONS WORLD	8	—	—	—	一般消費財・サービス
LOWE'S COS INC	—	61	530	56,217	一般消費財・サービス
LINCOLN NATIONAL CORP	16	—	—	—	金融
MCDONALD'S CORP	338.4	76.4	1,240	131,398	一般消費財・サービス
FACEBOOK INC-A	19	22	407	43,134	情報技術
SUMMIT MATERIALS INC -CL A	63	—	—	—	素材
METLIFE INC	—	88	416	44,110	金融
MOTOROLA SOLUTIONS INC	58	—	—	—	情報技術
MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A	21	142	2,003	212,183	一般消費財・サービス
WORLDPAY INC-CLASS A	—	81	676	71,628	情報技術
NETAPP INC	50.7	—	—	—	情報技術
NEWELL BRANDS INC	27	—	—	—	一般消費財・サービス
ALTRIA GROUP INC	62	—	—	—	生活必需品
PROCTER & GAMBLE CO/THE	—	167	1,318	139,700	生活必需品
NVR INC	0.9	—	—	—	一般消費財・サービス
QUALCOMM INC	39	—	—	—	情報技術
INVESCO LTD	53	—	—	—	金融
BOOKING HOLDINGS INC	1	1	217	23,002	一般消費財・サービス
SYMANTEC CORP	191	—	—	—	情報技術
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	—	33	1,129	119,612	一般消費財・サービス
TEREX CORP	—	69	267	28,381	資本財・サービス
TRAVELERS COS INC/THE	144	103	1,455	154,191	金融
SOUTHWEST AIRLINES CO	213	—	—	—	資本財・サービス
MARATHON PETROLEUM CORP	—	162	1,128	119,575	エネルギー
VOYA FINANCIAL INC	65	65	347	36,844	金融

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
UNITEDHEALTH GROUP INC	12	22	501	53,101	ヘルスケア
VALERO ENERGY CORP	140.2	—	—	—	エネルギー
WALT DISNEY CO/THE	—	196	2,016	213,581	一般消費財・サービス
WELLS FARGO & CO	58	58	324	34,344	金融
WASTE MANAGEMENT INC	41	—	—	—	資本財・サービス
WALMART INC	—	99	882	93,513	生活必需品
TJX COMPANIES INC	20	37	301	31,907	一般消費財・サービス
UNITED CONTINENTAL HOLDINGS	—	100	708	75,083	資本財・サービス
PULTEGROUP INC	158	158	464	49,173	一般消費財・サービス
NVIDIA CORP	—	13	325	34,493	情報技術
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A	329.7	127.7	474	50,240	一般消費財・サービス
YUM! BRANDS INC	148	124	1,035	109,679	一般消費財・サービス
NORDSTROM INC	54	—	—	—	一般消費財・サービス
AMERICAN EXPRESS CO	305	222	2,122	224,840	金融
ALASKA AIR GROUP INC	57	—	—	—	資本財・サービス
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	409.2	282.2	1,532	162,321	金融
AMGEN INC	21	10	188	19,940	ヘルスケア
APPLIED MATERIALS INC	314.2	—	—	—	情報技術
GILEAD SCIENCES INC	369	78	621	65,885	ヘルスケア
HARTFORD FINANCIAL SVCS GRP	122	122	657	69,696	金融
SIRIUS XM HOLDINGS INC	1,396	602	390	41,322	一般消費財・サービス
ILLUMINA INC	10	10	253	26,896	ヘルスケア
CARMAX INC	34	—	—	—	一般消費財・サービス
TARGET CORP	143	168	1,192	126,335	一般消費財・サービス
CLOROX COMPANY	16	16	205	21,777	生活必需品
MICROSOFT CORP	64	64	605	64,134	情報技術
CVS HEALTH CORP	—	272	1,785	189,157	生活必需品
MICRON TECHNOLOGY INC	—	42	254	26,952	情報技術
BLACKROCK INC	7	7	394	41,795	金融
ALLSTATE CORP	118	98	955	101,247	金融
EBAY INC	330	245	1,040	110,195	情報技術
EXPRESS SCRIPTS HOLDING CO	79	122	927	98,244	ヘルスケア
LEAR CORP	25	25	476	50,510	一般消費財・サービス
BIOGEN INC	8	7	201	21,327	ヘルスケア
BEST BUY CO INC	25	25	174	18,466	一般消費財・サービス
XL GROUP LTD	201	—	—	—	金融
CBS CORP-CLASS B NON VOTING	125.7	125.7	640	67,841	一般消費財・サービス
VISTEON CORP	29	13	158	16,793	一般消費財・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	39	39	139	14,802	一般消費財・サービス
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,186.2 91銘柄	7,331 81銘柄	55,864 5,917,675 <97.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国バイバック・マザーファンド

## (2) 外国投資信託証券

銘柄	期首 口数	当期 口数	期末 評価額	
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円
(アメリカ) SBA COMMUNICATIONS CORP	千口 1.8	千口 3.7	千円 624	千円 66,116
合計	口数、金額 銘柄数 < 比率 > 1 銘柄	口数 1 銘柄	624	66,116 < 1.1% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2018年3月19日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	5,917,675	95.6
投資信託証券	66,116	1.1
コール・ローン等、その他	209,067	3.3
投資信託財産総額	6,192,859	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.93円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,020,450千円)の投資信託財産総額(6,192,859千円)に対する比率は、97.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月19日現在

項目	当期末
(A) 資産	6,192,859,422円
コール・ローン等	200,220,376
株式(評価額)	5,917,675,045
投資信託証券(評価額)	66,116,527
未収配当金	8,847,474
(B) 負債	150,000,018
未払解約金	150,000,000
その他未払費用	18
(C) 純資産総額(A-B)	6,042,859,404
元本	4,496,994,831
次期繰越損益金	1,545,864,573
(D) 受益権総口数	4,496,994,831口
1万口当り基準価額(C/D)	13,438円

\*期首における元本額は5,823,642,486円、当期中における追加設定元本額は124,306,300円、同解約元本額は1,450,953,955円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジあり)813,613,462円、ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジなし)3,683,381,369円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は13,438円です。

## ■損益の状況

当期自2017年9月20日 至 2018年3月19日

項目	当期
(A) 配当等収益	41,814,918円
受取配当金	41,829,354
支払利息	△ 14,436
(B) 有価証券売買損益	342,443,522
売買益	920,806,929
売買損	△ 578,363,407
(C) その他費用	△ 671,879
(D) 当期損益金(A+B+C)	383,586,561
(E) 前期繰越損益金	1,640,630,357
(F) 解約差損益金	△ 525,046,045
(G) 追加信託差損益金	46,693,700
(H) 合計(D+E+F+G)	1,545,864,573
次期繰越損益金(H)	1,545,864,573

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。